

1995年10月



The Britannia Steam Ship
Insurance Association Limited

クラス3 (P&I)メンバー各位

カナダ - 油濁 (Canda - Oil Pollution)

1995年7月付けサーキュラーを参照されたい。

カナダの大手対応組織(流出油除去組織 : OSRO)の契約書式は、国際P&Iグループの検討の結果、本船対応契約書に関するクラブのガイドラインに沿うものと認められた。この契約書は、Burrard Clean Operations, Great Lakes Response Corporation, Eastern Canada Response Corporationの三社を管理運営する Canadian Marine Response Management Corporation (CMRMC)社が作成したものである。しかしながら CMRMC社はこの契約書を6ヵ月以内に再検討する模様である。

先のサーキュラーで触れたように、1995年8月15日にカナダで(カナダ海運法中の油濁防止)規則が発効し、(とりわけ)船主には免許を受けたOSROとの契約を整備しておく必要が生じた。ただ同規則の実施はOSROにカナダ沿岸警備隊の免許が与えられて初めて可能となるべきものであった。

1995年10月3日Burrard Clean Operations社 (Western Canada Marine Response Corporation 社の一部門)はカナダ沿岸警備隊の免許を受けたと了解している。従って同日より、ブリティッシュ・コロンビア水域へ配船される船主は、Burrard Clean Operations社と契約済みなることを示す必要がある。Eastern Canada Response Corporation社も今月下旬に免許を取得する見込みである。他のOSROで最大1万トンまでの流出対応作業への免許を申請しているところには、Atlantic Emergency Response Team ("Alert") Inc(ニューブランズウィック州セントジョン市)および、Point Tupper Marine Services Limitedがある。

これらのOSRO請負業者たちは最近料金表を発表したが、Point Tupper社を除く全社が一隻あたり200加ドルの入会金を徴収する。さらに全社が一隻あたり年間450加ドルの登録料と、結局は荷役施設が負担することになるばら積み石油料金を徴収する。このばら積み石油料金は、それぞれメトリック・トンあたりEastern Canada社が0.448加ドル、Great Lakes社が1.85加ドル、Western Canada社が1.52加ドル、Alert社が0.44加ドル、Point Tupper社が0.225加ドルとなっている。Point Tupper社はまた一航海あたり(積載量を問わず一律)100加ドルの燃料油料金をも徴収する。

カナダ沿岸警備隊は、OSROが免許を受ければ直ちに船主が同OSROと契約を結び、その旨を言明した文書の本船に備えることを強制することになるので、それら公認OSROの担当水域へ立ち入るタンカーに問題が生ずることになる。それは、彼等との契約のもとでは、タンカーが登録料と入会金を払わされるばかりでなく、政府指定以外の荷役施設へ向かう場合は、ばら積み石油料金も取られることになるからである。このばら

(裏面に続く)

積み石油料金は運ばれる貨物の量によって決まる。政府最初の指定通知はカナダで最大級の荷役施設数カ所に対して送達されたが、これらは12月9日になって初めて発効する。従って、もしタンカーが公認OSROとの契約を12月9日以前に結ばざるを得なければ、タンカー船主は、本来荷役施設側が支払うべきばら積み石油料金を負担するリスクを冒す。しかしながらCMRMC社にはその株主として次の6社、すなわち、Ultramar、Petro-Canada、Shell、Imperial Esso、Sunoco、Chevronがあり、CMRMC社は、これら株主の施設へ向かう船舶に対しては、12月9日以前であってもばら積み石油料金を(これら株主が支払う故にタンカー船主からは)徴収しないと声明している。

タンカー以外の船舶にはこのような問題はない。従って非タンク船は、OSROが免許を受け(そしてその契約書が国際P&Iグループのガイドラインに沿っていることが確認され)次第契約を結ぶべきである。

カナダへ配船される向きには、契約しようとするOSROとの契約書がP&Iクラブの「承認」を受けたものであるかどうかをクラブへ事前にお問い合わせになるようお勧めする。さらに12月9日以前にタンカーをカナダに配船されるメンバーは、そのタンカーが荷役する予定の施設でのばら積み石油料金の請求に関して(本船代理店などを通じて)事前にチェックされ、その支払い責任がないことを確認されることをお勧めする。

カナダの施行規則のもとでは、OSROとの「取り決め」を実行するための権限を与えられた者を特定した書類を船上に常備する必要があることをご想起いただきたい(1995年7月付けサーキュラーの通り)。そのような実行責任者はカナダ在住の必要はないが24時間体制で動ける者でなければならない。このような責任者は、メンバーの本社スタッフの中から選任することをお勧めする。

以上